



## 奈良公園にシカがなぜ多いの

### 神の使いのシカとして保護された

奈良公園の中に、春日大社という神社があります。この神社に祭られているタケミカツチノミコトは、藤原氏の氏神(一族の祖先)とされていました。このタケミカツチノミコトは、白いシカに乗って、この地へ来たという、伝説があります。そのため、奈良のシカは、昔から、神の使いのシカとして、大切にされてきました。藤原氏は、春日大社にお参りするときに、シカに出会おうと、乗り物から降りて、おがんだそうです。

### 国の天然記念物となった

1880(明治13)年に、奈良公園を造ることが決まり、それからの約20年間に、公園の整備・拡大が行われました。そのときに、神の使いのシカを、公園で遊ばせようということに、決まりました。1957(昭和32)年には、奈良のシカが、国の天然記念物に指定され、国によって保護されることになりました。今では、1000頭くらいのシカが、いるそうです。(監修・青木 国夫)

